

## ニロ<sup>®</sup> 52

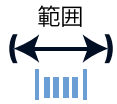


### 主な特長

多様な軟質ガラスと併用するために設計  
約565 °C (1050 °F) までほとんど一定した熱膨張率

重要 御社のご希望に合わせた機械的特性で製造いたします

## お客様への利点



範囲  
0.025mm~21mm  
(0.001"~0.827")



3mから3t (10 ftから6000  
Lbs) までのご注文



納期:3週間以内



御社の仕様に沿った  
特注ワイヤー



E.M.Sもご利用いた  
だけます



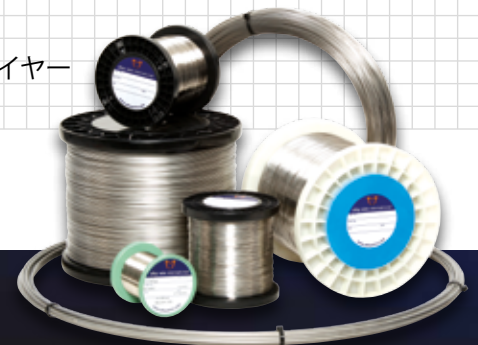
テクニカルサポート

### ニロ<sup>®</sup> 52 販売形態

- 丸線
- バー、カット済みワイヤー
- 平線
- 成形ワイヤー
- ロープ/素線

### パッケージ

- コイル
- スプール
- バー、カット済みワイヤー



化学組成			仕様	主な特長	標準的用途
素子	最小%	最大%	ASTM F30	多様な軟質ガラスと併用するために設計されています。 約565 °C (1050 °F) まで熱膨張率がほとんど一定です	軟質ガラスやセラミックで、様々なガラスと金属の接点シール用途に使用できます。
Ni	50.50 nominal		指定		
Fe	BAL				
Mn	-	0.60	W.Nr. 2.4478 UNS N14052 AWS 093		
Si	-	0.30			
C	-	0.05			
Cr	-	0.25			
P	-	0.025			
S	-	0.03			
Al	-	0.10			

密度	8.3 g/cm <sup>3</sup>	0.300 lb/in <sup>3</sup>
融点	1450 °C	2640 °F
変曲点	500 °C	930 °F
熱伝導性	17 W/m・°C	118 btu・in/ft <sup>2</sup> ・h °F
膨張係数	10.3 μm/m °C (20 – 100 °C)	5.7 x 10 <sup>-6</sup> in/in °F (70 – 212 °F)

仕上がったパーツの熱処理				
ニロ合金は通常、焼きなまし状態で提供・使用されます (残留冷間加工により熱膨張率に影響が出ます)。 焼きなまし時間は部分の厚さによって異なる場合があります。				
タイプ	温度		時間 (時間数)	冷却
	°C	°F		
焼きなまし	850 – 1000	1560 – 1830	0.5	空気または水

性質				
状態	伸張強度 (近似値)		動作温度 (近似値)	
	N/mm <sup>2</sup>	ksi	°C	°F
焼きなまし	450 – 550	65 – 80	～まで +450	～まで +840
硬引き	700 – 900	102 – 131	～まで +450	～まで +840

上記の伸張強度範囲は典型値です。異なったものをご希望の場合はお尋ねください。